

第 67 回全日本学生拳法選手権大会「男子」学連選抜チーム(合同大学)について

既に令和元年の年末総会(西日本連盟理事会)にて令和 2 年度の西日本学生拳法選手権大会より学連選抜チーム(合同大学)制度が導入しました。この制度を全日本学生拳法選手権大会にも導入希望があり、方面代表者で検討し本年度第 67 回大会はテストランとし導入して、今後の参考とすることとなりました。

目的

クラブ離れ(特に体育会系武道関係)が進み、スポーツ特待生入学以外の学生は部活に入らない傾向が増え続けています。更にはコロナ禍で活動自粛が続きました。

そこで、大会規定の試合成立人数が確保できずに大会出場の機会が得れない選手達は日々の練習にも希望を見いだせず目標も減少しています。

そこで、これらの選手の救済処置として今大会は特別導入されました。

運用ルール

- ①大会出場可能選手が 3 名以内の大学(全部員数や部活状況環境を主催者が審査し承認した大学)
- ② 4 名以上の出場可能選手は存在するが、病気・ケガ等で 3 名以内の大学は学連選抜チームの対象外とする。
- ③所属大学に拳法部はないが日本拳法を道場等で修練している大学生(主催者が審査し承認した選手)
- ④チーム編成は主催者が行う。
- ⑤原則として 1 チーム 7 人選手で編成するが出場人数は対戦校の出場人数と同等とする。但し、選抜チーム編成が 5 人の場合でも、対戦校は 7 人出場可とする。
- ⑥監督・コーチ等はチーム編成大学間で協議して決定し、大会参加費も編成大学間でシェアする。
- ⑦大会出場の為の事務処理(大会参加費・選手名簿・写真・抱負文等は決定した指導者が行う)

補足事項

1 所属大学に拳法部が存在しない選手は別途個人選手登録(詳細は学連委員長まで)しなければ成らない。

1 東・西・中の方面を越えてのチーム編成は不可。

申請方法

①大会に学連選抜チームとして出場希望する大学の監督(主将)が申込書に必要事項を記入して大会実行委員会に提出。

②大会実行委員会が申請者にチーム編成したものを回答する。

1 許可された学連選抜チーム(合同大学)は本大会の抽選会参加権を有する。

F A X返信先 0797-23-1901 芦屋大学（西光晴彦研究室）

急なことで恐縮ですが、抽選会 10 月 23 日（日）の準備都合上、来る 10 月 21 日（金）午前中必着までに下記申込書を F A X にて返信して下さい。

申込書

本大学は該当大会に出場資格を有する選手人数が存在しません。つきましては学連選抜チームに申込みを致します。

現在の総部員数(マネージャーは除く) 名

部員名簿				
氏名	学年	段級	選抜チーム出場希望者に○	NO

学連選抜チーム運用ルールをよく理解承諾した上で上記記載に間違いのないことを誓約し申込みを致します。

記載 年 月 日

申込み責任者氏名

印 役職